

「社会を支えるしくみ」

所沢市立東中学校

三年 宅美 小晴

みなさんは、税のことについてどう考えますか。税と聞くと、「お金をとられてしまう」「負担になるもの」と考える人が多くいるかもしれません。私もそのような風を感じていた部分がありました。しかし、今回の作文を書くにあたって少しでも税について学べたらと思います。調べてみました。まず、税は私たちの生活の基盤をつくっています。学校で勉強できるのも、道路や橋を安全に使用できるのも、病院に通えるのも税があつてこそです。特に、学校などの教育分野では、義務教育が無償で行われるおかげで、誰しも平等に学ぶ機会を得ることができています。

私自身も毎日学校に通い、勉強できるのは、税金によって支えられているからだと思うとありがたい気持ちです。また、税は災害時にも大きな役割を果たしています。日本は地震や台風が比較的多いですが、そのため、被災地などでは復興に力を入れています。これらも私たちが納めた税が使われているから実現できることです。一緒に頑張りたいという気持ちを、少しでも形で表すのは素敵だと感じます。

一方で、税の使い方については時々ニュースなどでも話題に挙がります。中には、「無駄遣いではないか。」と思われてしまうような使い方があることも事実です。そのたびに、私たちが納

めたお金が役立てられているのか考えさせられます。私は、税はみんなのお金だからこそ、透明性を持って、公平に、そして必要なところに使われるべきだと考えます。税を納めることは、将来の私たち自身を守ることにつながると感じます。今は学生で実感がわきませんが、社会に出たら必ず納める立場になります。そこで、「払いたくない」と思うのではなく、「自分も社会を支えているのだ」という自覚を持つようになりたいです。そして、支える側になったときにはよりよい社会をつくる一員として誇れるようにしたいです。税について考えると、普段当たり前のように受けているサービスのありがたさを感じることができます。学校での学びや安心できる医療、快適に使用できる道路や公園、そして助けてもらえる仕組み。これはすべて税があるから成り立っているものです。だから、「取られるもの」ではなく、「社会を支えるしくみ」だと認識していきたいです。